

DVDリスト

番号	テーマ	講師	演題
1807A	漢方治療 up to date	慶應義塾大学 環境情報学部・政策メディア科 渡辺 賢治	プレコンセプショナルケアから子育て支援の漢方
1810	がんの診断と治療 up to date	がん研究有明病院 消化器化学療法科 山口 研成	消化器がん(主に胃がん)における免疫チェックポイント 阻害剤とその副作用マネジメント
		昭和大学病院プレストセンター 乳腺外科 中村 清吾	乳癌の診断と治療
1812	妊婦の疾患と治療 up to date	国立成育医療研究センター 母性内科 荒田 尚子	妊娠と糖尿病
		順天堂大学医学部附属順天堂医院 産科・婦人科 牧野 真太郎	妊娠高血圧症候群の定義分類改訂と新たな治療戦略
1902	膠原病治療 up to date	長岡赤十字病院 リウマチ・膠原病内科 佐伯 敬子	関節リウマチからIgG4関連疾患まで
1903	生活習慣病改善指導	筑波大学大学院人間総合科学研究科 山田 実	サルコペニア ～ 最新の知見とエビデンス ～
		千葉大学大学院医学研究院長寿医学 真鍋 一郎	CKDと肥満
1904	健康食品・サプリメント	医薬基盤・健康・栄養研究所 食品保健機能研究部 千葉 剛	健康食品・サプリメントについて薬剤師として 知っておくべきこと
		日本健康食品・サプリメント情報センター 宇野文博	健康食品の内外の現状と医薬品との相互作用
1906	栄養療法	大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門 井上善文	栄養療法の基礎と応用 - 栄養評価の理論と実際 - - 静脈栄養の管理を考える -

※各DVDとも課題を含め90分×2コマとなります。

※※各テーマで星薬科大学認定薬剤師認定単位(G11)を2単位取得できます。

日本くすりと食品機能DVDリスト

番号		講師	演題
1411B	第1回	京都府立医科大学 吉川 敏一	科学的根拠に基づいた健康食品の機能性、 有効性および安全性 ～ヒト臨床試験の位置づけ
		株式会社ニッピバイオマトリックス研究所 小山 洋一	コラーゲンペプチドの製品 ～エビデンスと作用メカニズム～
		カネカ株式会社事業部 藤井 健志	還元型コエンザイムQ10(ユビキノール)の生理作用
1511B	第3回	森永乳業株式会社 村田 麻衣	ヒトの健康とビフィズス菌・乳酸菌の生理作用
		日本水産株式会社 辻 智子	オメガ3脂肪酸の生理機能～EPAを中心として
1607B	第4回	不二製油グループ本社株式会社 河野 光登	大豆タンパク質の生理機能～大豆のいいこと
		松谷化学工業株式会社 北川 真知子	機能性素材:水溶性食物繊維 難消化性デキストリン
1611	第5回	味の素株式会社 佐藤 斉	アミノ酸の機能性について
		雪印メグミルク株式会社 冠木 敏秀	内臓脂肪を低減するガセリ菌SP株 ～機能性表示食品としての事例～
1707B	第6回	太陽化学株式会社 安川 然太	水溶性食物繊維の機能性と医療分野での実施例
		サントリー食品インターナショナル株式会社 寺本 貴則	特定保健用食品『黒烏龍茶』の開発
1711	第7回	協和発酵バイオ株式会社 中村 佑輝	シトルリンの生理作用:血管機能改善を介した 健康ベネフィット
		森永乳業株式会社 坂田 穂行	高齢者における乳たんぱく質の有用性
1807B	第8回	不二製油グループ本社株式会社 河野 光登	大豆タンパク質の補完医療としての役割
		株式会社カネカ 澤下 仁子	還元型コエンザイムQ10の生理作用 ～抗疲労・抗酸化・エネルギー産生～
1811	第9回	太陽化学株式会社 小関 誠	緑茶成分と機能性 ～テアニンと茶カテキンを中心として～
		味の素株式会社 梶原 賢太	アミノ酸の機能性 ～ロイシン高配合必須アミノ酸と機能性表示食品～

※星薬科大(G11)2単位のための配布となり、単位の選択はできません。
 ※1411Bは90分×3講演(3単位)となります。また、受講料は3000円です。